

令和二年度版「みんなと学ぶ 小学校国語 四年 上」板書例
春のうた

第1時

春のうた 草野 心平

音読のしかたをくふうして、「春のうた」を
読もう。

ほっ まふしいな。

（おどろき）

○少しゆっくり

ほっ うれしいな。

（よろこび）

○長いねむりか
らさめた）

みずは つるつる。

（はださわり）

対ひ

かぜは そよそよ。

（心地よく）

ケルルン クック。

（感動して）

ケルルン クック。

（見たもの）

ほっ いぬのふぐりがさいている。

（近い）

ほっ おおきなくもがうごいてくる。

（遠い）

ケルルン クック。

（生きているよろこび）

ケルルン クック。

○感動高まる

○音読のしかた

・はやさ

・声の調子（はずむように）

・間の取り方

・だんだん高まる

令和二年度版「みんなと学ぶ 小学校国語 四年 上」板書例
みんなで遊ぼう

第1時

みんなで遊ぼう

○ドッジボールをせつ明するとき、話すこと

〈遊びをせつ明するときは〉

- ・ 遊びの名前
- ・ 何人ぐらいで遊ぶか
- ・ 何チームに分かれるか
- ・ スタートの仕方
- ・ ルールは
- ・ 勝ち負けの決め方は

相手をしながらせつ明し合い、うなずきながら聞き、しつ問したり、感想をつたえたりしよう。

○一人で練習しましょう。

〈遊びをせつ明するときは〉を見ながら

○二人組でせつ明し合います。

終わったら、他の友達にも聞いてもらう

○ふり返りましょう。

遊びのせつ明をしたり聞いたりして、大切だと思ったこと

第2時

遊び方を予想してせつ明したり、同じところやちがうところを見つげながら話を聞いたりしよう。

○知らない遊びを絵や名前から予想してせつ明しましょう。

〈遊びをせつ明するときは〉

↓解説編P 58参照

○同じところやちがうところを見つけてみましょう。

〈言ってみよう〉

↓解説編P 59参照

〈使ってみよう〉

↓解説編P 59参照

○ふり返りましょう。

今日の学習をして気づいたこと

令和二年度版「みんなと学ぶ 小学校国語 四年 上」板書例
 白いぼうし

第1時

白いぼうし あまんきみこ

「白いぼうし」を読み、ふしぎに思うことを話し合おう。

作者・あまんきみこ

「おにたのぼうし」

「きつねのおぎやくさま」

白いぼうしは、どんな物語でしょうか。

○イメージとは何でしょうか。

- ・心に思えがいた様子
- ・場面の出来事
- ・人物の行動
- ・感覚↓色、声、においなど

○分からない言葉をたしかめよう。

○ふしぎに思ったことを話し合おう。

第2・3時

場面ごとに、登場人物、起こったこと、松井さんの行動を整理して表にまとめよう。

○表にまとめよう。

1 タクシーの中	場面
	登場人物
	起こったこと
	松井さんの行動

第4時

いなくなった女の子について、
考えを発表しよう。

○それぞれの場面について、たしかめよう。

○女の子が登場したところ、いなくなったところ
は、本文中のどこに書いてあるでしょう。

○女の子について、ふしぎに思ったこと。

○考えを発表しよう。

第5時

感覚に関わる言葉を見つけて、
イメージをふくらませよう。

◎感覚に関わる言葉を文章の中から見つけて、
線を引きましょう。

◎見つけた言葉をノートに整理しましょう。
どんなイメージを思いましたか。

☆〈色〉

↓解説編P 72参照

☆〈声〉

↓解説編P 72参照

☆〈におい〉

↓解説編P 72参照

◎感覚に関わる言葉があるかないかでは、どう
ちがってきますか。

・想像しやすい

・ふんいきが、つたわってくる

・様子がわかるから、音読しやすい

第6時

受け取ったイメージをもとに、表げんの方をくふうして音読しよう。

◎音読の練習をしましょう。

○音読するときの注意

- ・ 声の速さや強さ
- ・ よくよう
- ・ せりふ（話しているように）
- ・ 心の中の声（つぶやくように）

☆物語全体をイメージを意しきして音読する。

◎音読を発表しましょう。

グループ
←
全体（代表）

◎よかつたところなど、感想をつたえ合ひましよう。

第7時

読んだ感想をつたえ合おう。

感想・思ったこと、考えたこと
↓根きよとなる表げんはどこか

◎ノートにまとめましよう。

◎感想を発表し合ひましよう。

〈話し方のれい〉

〜と思いました。なぜなら○ページ○行に〜と書いてあるので〜と考えたからです。

◎学習のふり返りをましよう。

- ・ 人物の行動や、色、声、においなどの表げんから、どのようなイメージをもったか。
- ・ 物語のイメージをつかみ、音読に生かすことができたか。

令和二年度版「みんなと学ぶ 小学校国語 四年 上」板書例
見つけたよ、^{ともだち}友達の良いところ

第1時

見つけたよ、友達の良いところ

「友達の良いところ」を話すために、
組み立てを考えよう。

○だれ

○良いところ（一言で）

○こんな出来事・理由

○わたしの思い、わたしの気持ち

第2時

スピーチをして、感想や質問を交流しよう。

①話すとき、聞くとき

話すとき

- ・聞き手を見る
- ・発音、声の大きさ
- ・速さ
- ・強弱
- ・間の取り方
- ・身ぶり

聞くとき

- ・友達のことを想ぞうして
- ・話のじゅんじょ
- ・話し方が分かりやすいか

②感想を伝えよう。しつ問しよう。

③ふり返ろう

- ・だれのスピーチが良かったか
- ・それはなぜか
- ・次は、どのように話したいか、聞きたいか

第1時

漢字辞典の使い方

漢字辞典のつくりを知ろう。

○漢字辞典には、どんなことがのっているか。

・部首・画数

・読み方（音読み・訓読み）・成り立ち・意味
他には？

・漢字を使った言葉、熟語

○漢字辞典にある漢字のならば順をたしかめる。
国語辞典：あいうえお順

←

漢和辞典：部首ごとのまとまり、
画数の少ない順

○主な部首の名前は？

へん：ごんべん、きへん、○○へん

つくり：おおざと、おおがい、○○

かんむり：くさかんむり、あめかんむり

あし：こころ、○○

たれ：まだれ、○○だれ

によう：しんによう、えんによう

かまえ：くにがまえ

第2・3時

漢字辞典の引き方を知ろう。

○三通りの引き方がある

・部首さくいんを見る ↓ 部首引き

・音訓さくいんを見る ↓ 音訓引き

・総画さくいんを見る ↓ 総画引き

○事前に知っておくこと

↓ 部首・画数・読み方

↓ 部首さくいん・音訓さくいんのどちらが早い
か

○何も手がかりがなく分からない時は？

↓ 総画を数え、総画さくいん

○三つの引き方を使って漢字を調べよう

・読み

・部首

・画数

・意味

・その漢字を使った言葉、熟語

☆どの調べ方がいちばんよかったか。

第1時

きせつのたより

春

○春の気しよう（天気にかかわる言葉）

- ・月のまわりの雲が光ってる。
- ・南風はあたたかいけどすなまはこんでくる。

春の気しようや様子を詩にしよう。

○見つけた春の気しようや様子

- ・春一番 ・かげろう ・春雨
- ・かすみ ・花冷え ・おぼろ月

○詩にしよう

（詩のたね）土手できくしを見つけたよ。

p 33 「詩」の例

○交流タイム

- ・いいなと思った作品のしょうかい

令和二年度版「みんなと学ぶ 小学校国語 四年 上」板書例
 「百科事典」を使って、調べることを決めよう

第1時

「百科事典」を使って、調べることを決めよう

- 百科事典を使った調べ方
- ・背を見て巻をえらぶ。
 - ・小口のつめを見る。
 - ・柱が手がかりになる。

「百科事典を使って具体的なテーマをせつ定しよう。」

☆大きなテーマ ↓ 小さいテーマ
 (例) 衣服 ↓ 目てき

きのう
 形
 時代
 地いき
 そさい ↓てんねんせ
 んい
 化学せんい

○調べてみたいこと
 大きなテーマ ↓ 小さいテーマ
 消ぼうしよ ↓ おう急しよち
 楽き ↓ げん楽き、打楽き、かん楽き

第2・3時

「百科事典を使って調べたことを発表しよう。」

- 手順
- ・百科事典や、他の本、インターネット
 - ・かじよう書き
 - ・こう目を分ける ↓ 見やすい
 - ・分かったこと

P 35 左下レポート例

- レポートを発表しましょう。
- ・はじめて知ったこと
 - ・発表の良かったところ

○学習をふり返りましょう。

...

令和二年度版「みんなと学ぶ 小学校国語 四年 上」板書例
アメンボはにん者か

第1時

アメンボはにん者か 日高敏隆

◎題名読みをしましょう

○ぎ問や分からないこと

内よりのまとまりごとに段落を分けよう。

はじめ	①	話題ていじや問題ていじ
中	②～④	具体例や実験、観察
	⑤～⑩	
	⑪～⑭	
	⑮～⑰	
終わり	⑱	筆者の主張

☆分けるヒント

・問いと答えのセット

・せつぞく語や指し語

問いの文章…②⑤⑩段落(かくれた問い…

⑨段落)

実験や観察…③④／⑥⑦／⑩／⑰段落

第2・3時

意味段落ことの要点を表にまとめ、文章全体を要約しよう。

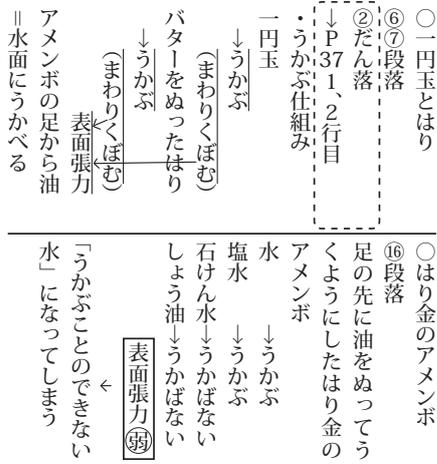
内よりのよく理かいるため
◎意味段落…一つの文章を、内よりの意味におうじて分けたまとまり

◎要点…文書の中心となる大事などところ(形式段落をまとめる)

はじめ	①	にん者のようなアメンボ
中	②～④	アメンボのかげ
	⑤～⑩	表面張力と中足
	⑪～⑭	アメンボの食べ物の取り方
	⑮～⑰	はり金のアメンボとよごれた水の実験
終わり	⑱	生き物がくらしでいけるか んきょう

◎要約…要点をもとに、自分の言葉を使って短い文章で表すこと

実験の事例の意図をたしかめたり、文章全体を図で表したりしよう。



- ◎二つの実験がなかつたらどうなるか。
- ◎本文全体を段落のつながりに注意して、関係を表す図にまとめましょう。
↓朱書編P44参照

題名に着目して、筆者が伝えたいことを考えよう。

筆者の考え ↓ ⑩段落
かんきょうをみんなで大切にしたい

題名「アメンボはにん者か」

はじめ	①	にん者のようなアメンボ
	②～④	アメンボのかげ
	⑤～⑩	表面張力と中足
	⑪～⑭	アメンボの食べ物の取り方
	⑮～⑰	はり金のアメンボとよごれた水の実験
	⑱	生き物がくらしていけるか んきょう
終わり		

- ◎筆者は、なぜこの題名をつけたのだろうか
- ◎学習を通して分かったこと・考えたこと

第1時

新聞を知ろう、作ろう

読み手が分かりやすい新聞を作ろう。

- ・字がきれい
- ・写真や絵がある
- ・くわしく書いてある

ひもの新聞

P 49新聞例

○新聞のくふう

○新聞作りの手順

- ①どんな新聞を作るか決める
- ②取ざいをして、記事を書く
- ③新聞の組み立てを考えて、仕上げる
- ④新聞を読んで、感想を伝え合う

第2時

新聞記事を書くために、取ざいをしよう。

- ・インタビュー
- ・アンケート
- ・本やインターネット

取ざいのポイント五かじよう

- ★大事なことを落とさずに聞くべし！
- ★話の中心や思ったことをメモするべし！
- ★聞き取れなかったことは後でしつ問するべし！
- ★メモをくふうするべし！↓かじよう書き
記号
- ★書き足りないことや気が付いたことをメモにくわえるべし！

○インタビューで気を付けること

- ・しつ問を考えておく。
- ・ていねいな言葉づかいをする
- ・おれいを言う。

○インターネットで気を付けること

- ・正しいじようほうかどうかたしかめる

第3時

読み手に分かりやすい記事を書こう。

〈メモ〉

- ・お茶につける。
- くわしくなった部分
- ・説明をくわえてある。
- ・図や表も入れる。

さらに、沼津どくとくのかこうのしかたとして、お茶につけて作る必要があります。お茶につけることで、くさみを取り、さらにうまみ成分を引き出すことができます。

☆見出し↓一番伝えたいことを短い言葉で！

- ・くふう①具体的な数や順位

記ろくは(二五八)まい

- ・くふう②読み手の感じようになうたえる

味の(ひみつ)はお茶にあり

わくわくする、知りたくなる

- ・くふう③たとえや言い切った表げん

沼津のひものは(日本一)

第4時

新聞を読んで、感想を伝え合おう。

- 書き方の良さ↓赤い付せん
- ・見出しはくふうしているか。
- ・くわしく書いているか。
- ・図や表があるか。それらは文と合っているか。
- ・分かりやすい文章か。
- ・まねしたいと思ったところ。

- 内よりの良さ↓黄色い付せん

- ・自分がおどろいた内よう。
- ・おもしろいなと思ったこと。
- ・よく取ざいがしてあるなと思ったところ。
- ・まねしたいと思ったところ。

- ふり返り

- ・新聞作りで身についた力

第1時

メモを取りながら聞こう

○これまでのメモの取り方は？

- ・話の速さに間に合わない。
- ・どのようにメモしようか。まよう。

必要なことを聞き取り、分かりやすくメモしよう。

○自分のメモと三人のメモをくらべよう。

西山さん：言葉が長い。メモが途中で終わっている。

☆言葉を短くメモするとよい。

山本さん：すっきりして分かりやすい。

かじよう書き

木村さん：山本さんにくらべて、さらに分かりやすい。

持ち物を「も」と書き、赤ペンでかこんで、リユックサックに入れるという意味になっている。
両具に？と矢じるしをつけている。

第2時

自分に合ったメモの取り方を考え、必要なことをメモしよう。

○上手なメモの取り方

- ・相手の伝えたいことや、自分に必要なことを考え、大事だと思ふことをメモする。
- ・短い言葉。
- ・かじよう書き。
- ・大事だと思ふことをかこんだり、線や矢じるしなどを使ったりする。

○自分に合うメモの取り方

- ・一文を短く書く。キーワードだけを書く。
- ・かじよう書きにする。
- ・矢じるしやかこみを使う。

見学したことを新聞にまとめよう

第1時

見学したことを新聞にまとめよう

見学したことが読み手に伝わるように、新聞を作ろう。

○読んでもらいたい人

○どんな記事を書きたいか

- ・ごみはどのようにしょ理されているのか
- ・インタビュ―：くふう、苦ろう
- ・写真、イラスト、グラフ
- ・小見出しをくふうする：前に学習した

☆学習の流れ

- ①見ておきたいこと、聞いておきたいこと
↓取材カード
- ②取材の練習
- ③見学後、取材カードの分類
- ④記事カードに整理
- ⑤わりつけを考える（グループ）
- ⑥記事の下書き
- ⑦記事の清書
- ⑧新聞を読み合う

第2時

取材の計画を立てて、しつ問の練習をしよう。

①見ておきたいことや聞きたいことをノートに書く。

②グループで取材カードにまとめる。

P 56 「取材カード」の図

③取材の約束をかくにんする。

- ・ていねいな言葉づかい。
 - ・質問をしてよいかかくにんする。
 - ・おれいを言う。
 - ・写真：とつてもよいかかくにん
 - ・しつかりとメモを取る
↓キーワード、記号
 - ・一度聞いて分からなかったら…
↓もう一度聞き返す
 - ↓もつとくわしく聞く
- ④取材の練習をする。（グループ、ペア）

取材カードを分類して、記事カードに整理しよう。

○見学で分かったこと ↓ 観点

- ・どれくらいのおりようのゴミをもらっている
↓ ごみしよ理について
- ・かかるひ用 ↓ ごみしよ理について
- ・はいはセメントの材料に
↓ しよ理したごみのゆくえ
- ・熱で発電 ↓ クリーンセンターのくふう

○観点を決めて、記事カードにまとめよう

P59 カード
例①

P59 カード
例②

P59 カード
例③

○し料を読んで記事カードに付け足そう
↓グループでふうとうに入れる

実際の資料を掲示

P 55新聞例
※気付きに印をつけていく

○わりつけの方法

- ・新聞の題字、見出しをくふうする。
- ・見出し：横書きにしてもよい。色をくふう。
- ・一番伝えたい記事は、上へ。
- ・最後にまとめや感想を書く。
- ・し料：写真、図、グラフ、表

新聞のわりつけを考えて、記事を書く分た
んをしよう。

P 60 右下の図

記事の下書きをし、記事に合う写真や図は
んなどのし料を考えよう。

○記事の書き方

記事の書き方

- ・「いつ、どこで、だれが、何を、どうした」
- ・だん落
- ・むずかしい言葉…説明する。
- ・文末…「だ・である」か「です・ます」
- ・伝えたいことに合う写真、表、グラフなど

○記事のこう成

実際の記事の例を掲示

記事の清書をして、新聞を完成させよう。

読んでもらう人…()

教科書P55の新聞を拡大したものを貼る

※分担した箇所が分かるように、記事ご
とにはさみで切り取る

記事の書き方

- ・「いつ、どこで、だれが、何を、どうした」
- ・事実と自分の考えは、段落を分ける
- ・むずかしい言葉…説明する。
- ・文末…「だ・である」か「です・ます」
- ・伝えたいことに合う写真、表、グラフな
ど

新聞を読み合って、よいところを伝え合おう。

○他のグループの新聞を読む

←

コメントカード(付せん)に良いところを書く

☆記事の書き方や、分かりやすさ、くふうなど。

○学習をふり返る

学習の流れ

①見ておきたいこと、聞いて

おきたいこと

↓取材カード

②取材の練習

③見学後、取材カードの分類

④記事カードに整理

⑤わりつけを考える(グループ)

⑥記事の下書き

⑦記事の清書

⑧新聞を読み合う

※それぞれの過程について、良くできたこと、気付いたことを模造紙に書き入れていく。

令和二年度版「みんなと学ぶ 小学校国語 四年 上」板書例
お礼状れいじょうを書こう

第1時

お礼状を書こう
お礼状の書き方を理かしよう。

← 感しやを伝える手紙

はじめ

- ① 季節のあいさつ
- ② 相手の様子をたずねる

中

- ③ 自己しようかい
- ④ お礼の言葉
- ⑤ 出来事や思ったこと
- ⑥ 終わりのあいさつ
- ⑦ 日付

終わり

- ⑧ 自分の名前
- ⑨ 相手の名前

◎ ていねいな書き方
失礼のない書き方

第2・3時

伝えたいことをメモに書き出して整理し、お礼状の下書きを書こう。

◎ お礼状に書きたいことをまとめよう

相手	何に 対して	お礼を 伝えたい 理由	うれしかつ たこと よくわかっ たこと

◎ 季節のあいさつ文
・ ○ ○ ○ ○
・ ○ ○ ○ ○

◎ 下書きを書こう

P 63 下段「書き方のポイント」を提示

第4時

下書きを読み合ってより良いお礼状にしよう。

はじめ

- ① 季節のあいさつ
- ② 相手の様子をたずねる

中

- ③ 自こしようかい
- ④ お礼の言葉
- ⑤ 出来事や思ったこと

終わり

- ⑥ 終わりのあいさつ
- ⑦ 日付
- ⑧ 自分の名前
- ⑨ 相手の名前

封筒の表面・裏面を掲示

◎あて名の書き方



第5時

下書きをもとにお礼状を清書しよう。

書き始めは一文字下げる

段落が変わったら一文字下げる

文の終わりは
ていねいな言葉
で書く

P63 手紙例

日にちは一文字
下げて書く。

相手の名前は上
に書く。

会話文は行をか
えて「」をつける。

自分の名前は下
に書く。



第1時

季節のたより

夏

○夏の季節を表す言葉

- ・ 天気がよかったのに急に夕立になった。
- ・ 梅雨になるとカビが生えやすい。

夏の気象や様子を詩にしよう。

○見つけた夏の季節を表す言葉や様子

- ・ 入道雲 ・ 南風 ・ 五月雨
- ・ 入梅 ・ 炎天 ・ 夕立

○詩にしよう

(詩のたね) 夕立がざあっと降った。

P65 下段
「詩」の例

○交流タイム

- ・ いいなと思った作品しようかい

第1時

手で食べる、はしで食べる
 森枝 卓士

読んだ感想をもとに、学習の見通しをもとめよう。

インドの食事の様子
 ……
 〈気づいたこと〉

〈読んだ感想〉

・ 感想・ぎ問

〈みんなで考えたいこと〉

- ① 文章のまとめまりを考える
- ② インドと日本のちがいをさぐる
- ③ はしのれきしについて調べる
- ④ 筆者の考えをまとめめる
- ⑤ 学習のふり返りをする

P66 写真

第2時

まとめまりに注目して、文章こう成をとらえよう。

はじめ

① 話題ていじ

中①

② 問ていじ

どうしてはしやスプーンを使わずに食べるのでしょうか。

③～⑤

⑥ このように(小まとめ)

⑦ 問ていじ

はしを使って食べるという習慣はどこで生まれたのでしょうか。はしは、どのように使われるようになったのでしょうか。

⑧～⑫

⑬ このように(小まとめ)

中②

⑭ 終わり

第3時

日本とくらべながら、インドの人が手で食べる理由を読み取ろう。

米のちがいを

③	段落	ちがいを	日本の米	インドの米
	形	丸い	はしでつまみやすい ・ねばり気があり、手にくっつく	細長い ・はしでつまみにくい ・さらさらして手につかない
④	せいしつ		・くつつきやすいので、はしで持ち上げて食べられる	・くつつきにくいので、はしを使って食べるのは不便

また

インドの人の食に対する考え方を
↓解説編P195参照

食べ物にまつわるちがいが、手で食べるか、はしのように道具を使うかに分かれた理由

第4時

はしを使って食べる習慣のれきしと、各国のはしのちがいについて読み取ろう。

⑧はしを使うれきし

- いつ 三千年以上前
- どこで 中国で
- どのように ・れんげやスプーンといっしょに使われていた
- ・近くの国々にも広まった

日本への伝わり方

- かわってきた
- ・はじめはスプーンとセット
- ・木の茶わんにじかに口をつけるのがふつうになる
- ・はしだけになる

○それぞれの国のはしの使い方と形

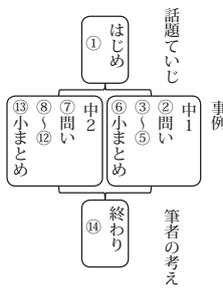
各国	日本

第5時

事例と筆者の考えとの関係を読み取ろう。

【問】
 ① 手で食べるか、はしで食べるか
 また
 ② どんなはしでどのように食べるか
 ←
 【答え】
 その国の食べ物や生活のしかたのちがいが「文化」のちがいがらきている

筆者の考え
 ↓
 どのような方法で食べるかということは、それぞれどの国の「文化」から生まれた人々のちがえ



第6時

筆者の考えに対する感想や自分の考えをまとめて、伝え合おう。

- 筆者の考え
- キーワード
 - ・手で食べる人たちのちえ
 - ・はしで食べる人たちのちえ
 - ・「文化」のちがいが
- ☆自分の考えや感想
- ☆友だちの考えや感想に対するコメント
- ☆学習で使った理かひのための方法とその成か
 - ・対ひ的に整理する
 - ↓くらべたものちがいがはつきりする
 - ↓筆者の説明のくふうが分かる
 - ・せつぞく語に着目する
 - ↓だん落同しの関係が分かつた

次に読んだり、説明したりする時に使えそう